

令和6年8月 月例句会 会報・HP掲載句

兼題 蟋蟀、秋の海、当季雑詠

(清記表順)

蟋蟀の初鳴き暗き長廊下	新谷 亮介
底知れぬ夜の深まりちちろ鳴く	佐藤 政百
甕の中コオロギの音に耳澄ます	川田 勝美
戸板一枚流れゆく秋の海	安井 正浩
佐渡かすみ夕日に映える秋の海	石原 克己
茅葺の家の涼しき風土記の地	森 邦彦
招き猫ぱちぱちはぜるソーダ水	中山 知祐
妻の小言無くて寂しや夏の暮れ	眞田 宗興
フェリー行く豊後水道雲の峰	城戸崎雅崇

以上